



At the heart of the image

写 真 部 応 援 マ ガ ジ ン

Top Eye

boys & girls photo magazine

No.255

Late Winter 2010 **2-3**

第154回
TopEye
賞

「故郷」柳澤 悠人 (栃木県立栃木工業高等学校2年)



フォトフォトサロン
2009年度グランプリ受賞校発表!

ガンバレ写真部!
大阪市立都島工業高等学校
「ノリノリまじめ」に腕を磨こうぜ!

視想講座 VOL.249
太田 順一
たくさんの出会いが自分を磨いてくれる

簡単マスター! デジタル写真スクール 第5回
撮った写真を「作品」に仕上げるぞ!

交流の輪を広げよう!
みんなで作る!
FRIENDs EyE

Nikon News
COOLPIX 4機種新登場!

Nikon College
ニコンカレッジ



Photo Photo SALON

2009年度グランプリ受賞校発表！

日々の創作と挑戦を未来への糧に 審査員 大西みつぐ

「年度グランプリ」。なんと豪華な名称です。映画のアカデミー賞ではないですが、レッドカーペットを歩くような気持ちは明日への活力になります。競い合う精神に自立と勇気が与えられるのはもちろん、自身の可能性への挑戦という素晴らしい課題も生まれます。今年度もたくさんの学校のみなさんが頑張ってくれました。その代表ともいえる、最優秀賞の新座総合技術高等学校（埼玉県）のみなさんおめでとう。毎回の明るく元気な写真は本当に生き生きとしていて素敵でした。なによりも気持ちがいい。優秀賞の水戸第二高等学校（茨城県）の伝統的なモノクロ作品群も目を見張るものがあります。コツコツと丹念に写真を制作するという態度こそが「表現」であり「芸術」でもあります。また、毎年安定した力と積極的な応募でのフォトフォトサロンを盛り上げてくれる敢闘賞の八代白百合学園高等学校（熊本県）の存在も忘れられません。みなさんがさらにここから未来へと飛び立てることをお祈りします。

最優秀賞

賞品／D90 AF-S DX18-105G VR レンズキット
(D90、AF-S DX NIKKOR 18-105 mm F3.5-5.6G ED VR)、賞状、楯

埼玉県立新座総合技術高等学校

部員数：男子1名、女子21名 部長：田代つかささん（2年） 副部長：山田遼平さん（2年） 顧問：井上貴博先生、武多美那先生



後列左から…栗原響さん（2年）、萩原萌加さん（2年）、杉田めぐみさん（2年）、石黒沙織さん（2年）、大嶋千奈さん（2年）、高木彩花さん（1年）、見澤菜月さん（1年）、菅崎音さん（1年）、加藤美咲さん（1年）、工藤祐実さん（1年）、岡田麻里衣さん（1年）
前列左から…井上貴博先生（顧問）、鯉淵恵里花さん（2年）、笹山風花さん（2年）、岩河実愛さん（2年）、山田遼平さん（2年）、田代つかささん（2年）、柴崎萌子さん（2年）、川角ひかるさん（2年）、池田彩恵さん（2年）、武多美那先生（顧問）



第151回 TopEye賞の舞台ウラ。水を入れる前のプールにギター持ち込んで…。



台風の後、湖となったグラウンドで。寒いのでブルブル撮影。

部室にて、楽しく厳しいチェックタイム。



喜びの声！

結果を先生から伝えられた瞬間、部員全員が思わずその場で叫びました。今まで協力してくださった先生や家族、地域の方々、また撮影を手伝ってくれた友達に感謝の気持ちでいっぱいです。この度は本当に、ありがとうございました！

他校へエール！

いつもTopEyeを見る度に「負けてられないな」という気持ちになります。写真が好きな者同士、時にはライバルとして、お互い写真を撮り続けていきましょう！

受賞のヒケツ（？）

シャッターチャンスを逃さないように、常にカメラを持ち歩くことを心掛けました。時には枚数にノルマをつくって、みんなで集中的に撮影を行いました。

先生も一言！

部員一同、最優秀賞を目指して日々の活動に取り組んできました。部として大変な時期もありましたが、それを乗り越えて得た今回の受賞を心から嬉しく思います。これを励みに、来年度も上位入賞目指して頑張っていきたいと思っています。

編集部から

受賞をお伝えした後、あの「ギョーザパーティー」（本誌No.249参照）で盛り上がったんでしょうか。毎回の応募作からは、写真を楽しみ尽くすぞ！っていう意気込みがブンブン匂っ…じゃなくて、ピンピン伝わってましたよ。おめでとう！！バンバン！！（クラッカーの音）



文化祭ではオリジナルエコバッグを製作。カメラのデザインが大人気で完売！

2009年度グランプリの選考について

2009年6-9月号から2010年2-3月号まで、4回分のフォトフォトサロンへの応募を対象に集計しています。採点項目は①TopEye賞 ②準TopEye賞 ③入選 ④佳作 ⑤もう一息DE入賞 ⑥皆勤賞 からなり、各項目の合計ポイントを算出。ポイント1位が最優秀賞、2位が優秀賞、3位が敢闘賞となっています。

次年度グランプリは6-9月号から。P12の応募記事や応募用紙の説明をよく読んで、ドンドン応募してくださいね！

優秀賞

賞品／D5000 レンズキット (D5000、AF-S DX NIKKOR 18-55 mm F3.5-5.6G VR)、賞状、楯

茨城県立水戸第二高等学校

部員数：女子13名 部長：平本倫子さん（2年） 副部長：大快優子さん（2年） 顧問：井坂哲章先生



左から…笠井千彩さん（1年）、高島絵里奈さん（1年）、長岡早紀さん（1年）、大快優子さん（2年）、高野華子さん（2年）、平本倫子さん（2年）、岡田京子さん（2年）、松本穂波さん（2年） 枠内…井坂哲章先生

喜びの声！

今回は、優秀賞という素晴らしい賞をいただき、とてもうれしく思います。私達はとてもマイペースですが、皆それぞれの個性に溢れています。これからも皆さんに刺激を与えられる様な写真を撮っていききたいです。ありがとうございました。

他校へエール！

皆さんの写真をみて、とても勉強になっています。特に、私たちは女子校なので男子の皆さんの写真は良い刺激になっています。お互い頑張っていきましょう。

受賞のヒケツ（？）

撮影時には、何を表現したいかを明確にするように心がけました。プリントは大変苦労しましたが、作品に愛情を持って常に丁寧に行うようにしました。

先生も一言！

生徒と同じ場所へ撮影に行っても、私が気にも留めないような視点から、はっとするような写真を見せられます。高校を卒業してからも、自分の感性を大切にしたい写真撮影をずっと続けていてもらえれば、と思います。

編集部から

「何を表現したいかを明確に」そんなんです。貴校の受賞作はどれも表現のポイントがはっきりしていて、丁寧に、効果的に仕上げてあるんです。大西先生をうならせるような作品、これからもお待ちしております！



学校近くの弘道館公園で。うろうんと背伸びして、寄る！



下校時間も撮影時間。いい被写体を見つけるとこの通り。



夏休みの撮影旅行。甲府へ行く途中の国分寺市で。

敢闘賞

賞品／COOLPIX P6000、賞状、楯

八代白百合学園高等学校（熊本県）

部員数：女子15名 部長：中村真央さん（2年） 副部長：原千映美さん（2年） 顧問：中西琢也先生



後列左から…小幡愛さん（1年）、原千映美さん（2年）、藤本みつきさん（1年）、杉山香さん（1年）、平江富美さん（1年）
中列左から…黒岩乃英さん（1年）、宮岡真理奈さん（1年）、福田光さん（2年）、中西彩さん（2年）、渡辺真友さん（1年）
前列左から…中村真央さん（2年）、大畑文月さん（3年）、吉田桃子さん（3年）、庄村佳良子さん（3年）、上村秋穂さん（3年） 枠内…中西琢也先生

喜びの声！

敢闘賞をいただき、ありがとうございます。今年は、受賞は難しいと思っていたので、正直驚いています。これからもこの結果に満足することなく、部員同士「切磋琢磨」しながら写真を撮っていききたいと思っています。来年度は最優秀賞を目指して部員一同頑張ります！！

他校へエール！

全国の写真部のみなさん、こんにちは！これからも写真をエンジョイしながら撮って撮って撮りまくりましょう！お互い高め合って頑張っていきましょう。

受賞のヒケツ（？）

私達とカメラは一心同体。面白いと思ったものにバシャリ☆、キレイだと思ったものにバシャリ☆、写真を撮ることは私達の日課、とにかく楽しむことをモットーに毎日頑張っています。

先生も一言！

3年連続して年間グランプリに入賞することができて本当に驚いています。毎日楽しく撮影に取り組んでいる部員にとって最高のプレゼントです。これからも生徒の感覚と個性を活かしていきたいと思います。

編集部から

3年連続、スゴイ！まさに継続は力ですね。バリエーション豊かな写真群は、皆さんの個性がカメラに乗り移って生まれている感じです。まさに一心同体。地べたに寝転んで構える姿もカッコイイ！

地元のイベントで藤岡弘さんと。先生が一番ドキドキ？



廃墟好きは相変わらず。車で4時間移動して撮影。



ベストポジションのためなら、格好なんて気にしません。



アングル追求にも、妥協ナシ！



惜しくも次点、の上位10校発表（得点順）。来年度はキミたちの番だ！

香川県立坂出高等学校・大阪府立都島工業高等学校・栃木県立栃木工業高等学校・新潟県立松代高等学校・東京都 正則高等学校・沖縄県立南部工業高等学校・新潟県立六日町高等学校・静岡県立伊東高等学校・茨城県 水城高等学校・神奈川県川崎市立川崎総合科学高等学校

審査員 大西みつぐ
1952年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。



被写体と自分の「目力」に向かい合う／大西みつぐ

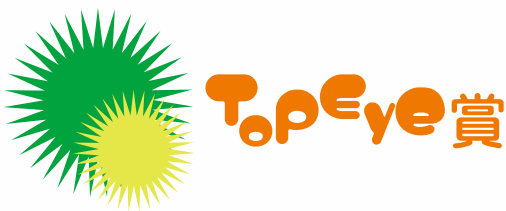
新年ということもあったのか、たくさんの応募作品が集まりました。会議室の大きなテーブル上に並べられた作品を一点づつ拝見していくのですが、今回は人物や猫などの目を撮ったものが多くどれも迫力がありました。ピントをしっかりと目に合わせるためには、フォーカスポイントを細かく動かして調節しなければなりません。AF(オートフォーカス)の時代であっても、ピントは自分の意志を反映させることが要です。結果として、しっかりピントを合わせたポートレートなどには「目力」のようなものが感じられ強い印象を残します。また「目力=眼力」としますと、撮り手にもそのような力が必要とされます。さらにそこには物理的に「見る」という行為に関わるであろう、その人の「まなざし」という心の世界にも行き着きます。これらを貫く「光」こそが「写真」に深い感動をもたらすものなのです。

めざせ!年度グランプリ!

フォトフォトサロン(6/15・10/15・12/15・2/15発行号掲載)では、学校単位で入賞ポイントなどを加算し、年度グランプリ校を選出しています。部一丸となってグランプリをめざそう!

賞	●最優秀賞1校:合計ポイントが1位の学校 ●優秀賞1校:合計ポイントが2位の学校 ●敢闘賞1校:合計ポイントが3位の学校 副賞はニコンデジタルカメラだよ!
	●TopEye賞(100pt) ●準TopEye賞(70pt) ●入選(50pt) ●佳作(30pt) ●もうヒトイキDE入賞(10pt) ●皆勤校ポイント(20pt)

2009年度グランプリ
P1-2にて大発表中!



TopEye賞



準TopEye賞



表紙に大きく
載ってるよ!!

「故郷」柳澤 悠人

栃木県立栃木工業高等学校2年

●D3 ●AF-S 24-70mm
●Aオート (f/5.6) ●ISO200

「故郷は遠きにありて思うもの」という一行ではじまる室生犀星の詩(小景異情)があります。都会にいての思いなのか、それとも故郷にいての思いなのか意見が分かれることがあります。故郷はたまに思い出そうほうがよいなどと解釈してしまったり寂しいでしょう。柳澤君のように自分の足下から広がってくる故郷というものもあるからです。そこには昔日の懐かしさだけでなく、今の風景を見据えていく覚悟のようなものが生まれます。柳澤君の故郷も、「商店街」のちょっと色褪せたアーチと万国旗が時の流れを連想させる一方、しっかり自らを主張させた理髪店の「ねじりん棒」が好対照を見せています。さらに駐車場の一角に佇み、自分の影も風景にすっかり包み込まれるようにしてシャッターを押しています。故郷への刻印ともいえましょう。



「瞳」山城 奈月

沖縄県立南部工業高等学校3年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm ●Aオート (f/4.5) ●ISO400

彼女の瞳にほんとに吸い込まれていくような勢い、力がありますね。ここまでしっかり見つめられますとカメラマンは逆に硬くなってしまいますが、落ち着いて撮っています。絞り値の選択、カメラアングルなど適切でし、上部右端に背景を少しのぞかせている点が上手です。それから当たり前のことではありますが、瞳に作者である山城さんが映っています。そこには丸くキラキラした「世界」がうかがえ、レンズを通して見えてくるイメージとはなんと美しいものかとあらためて気づかせてくれます。



入選



「シャッ!!」山田 遼平

埼玉県立新座総合技術高等学校2年

●D90 ●AF-S DX18-105mm
●1/13秒 ●f/4 ●ISO800

サービス精神満点のお父さん。案外上機嫌。ここまで調子に乗ってしまったらカミソリで顔を傷つけなかったでしょうか。お父さんのパワーに負けじと撮影していますが、ちょっとシャッター速度が遅かったため被写体がブレてしまいました。(ISO800ならもう少し速いシャッターが押せたはずなのですが?)でもかえってお父さんの雰囲気盛り上げました。後ろのシャンプー入れの「2匹」が妙に目立ちます。さながらお父さんのかわいい角です。



「パパまでの道程」武田 京子

茨城県・水城高等学校2年

●D3000 ●AF-S DX18-55mm ●オート ●ISO100

武田さんが気づかれたように、お父さんとお子さんの歩幅の違いがしっかり雪に残っています。ここが作品の命といえましょう。そこには親子の愛情や暮らしぶりといったイメージまでうかがえます。お父さんの顔を大胆にもカットしたのは、ひとつの「配慮」とも思えますが、かえって写真を見るわたしたちがこの時の表情を推察する楽しみがあります。露出不足になりがちな場面ですが、雪のトーンもよく再現されています。



「頂」大快 優子

茨城県立水戸第二高等学校2年

●デジタル一眼レフカメラ ●24-85mm ●Aオート (f/8.0)
●ISO400 ●T-MAX400

筑波山の古式豊かな祭事のひとこま。お祭りの最中ではなく、神輿の担ぎ手たちがちょっと休息している光景です。しかし十分に神々しいのは、ここに神様が降臨したという伝えがあるからでしょう。人物の高低差が山並みのようでもあり遠近感が面白く表現できました。あと2人ほど振り返ってくれていたらなおよかった。お祭りでは説明的に撮るだけでなく、こうした不思議な時間の狭間のようなところに立ち会えるといでしょう。

第154回 TopEye賞受賞
柳澤 悠人さん
受賞のコトバをどうぞ!!

かつて、師走ともなれば、より多くの買い物客で賑わっていたと言うこの商店街も、今は閑散としている。僕はその頃の街の風景は知らないけれども、うら寂しい路地裏のようなこの風景も、僕の「故郷」(とちぎ)であるのだ。日も傾きかけてきて、駐車場のブロック塀に自分の影が映った時、「今」を残そうと言う鮮烈な想いが湧き上がり、僕はカメラのシャッターを切った。変わらないようで変わり行く「故郷」の姿を、僕はこれからも撮影していこうと思う。



もうヒトイキDE入賞!! ※順不同

●「陰影」門脇夏子 山形県立酒田西高等学校2年
●「凝視」渡辺真友 熊本県・八代白百合学園高等学校1年
●「思ひ出」中村真央 熊本県・八代白百合学園高等学校2年
●「海月男」鈴木薫 静岡県立伊東高等学校1年
●「大晦日」須崎陽子 鳥取県立鳥取豊学校2年
●「分身の術」野呂明香 兵庫県・雲雀丘学園高等学校2年

●「同調実像」鈴木千晴 香川県立坂出高等学校1年
●「フラッシュ」柴崎萌子 埼玉県立新座総合技術高等学校2年
●「彼女の素顔」竹田隆太郎 山口県・大島商船高等専門学校4年
●「色目づかい」市毛小百合 茨城県立緑岡高等学校2年
●「カミキリムシ」井上絵美 久留米市立南筑高等学校3年
●「祭りのにぎわい」佐藤仁 香川県立多度津高等学校2年
●「相談したいんだけど…」鋸持里奈 新潟県立六日町高等学校3年

次のページでは
写真入りで
紹介するYO!!



賞品

ニコンデジタル一眼レフカメラ
賞状

準TOPEYE

ニコンデジタルコンパクトカメラ
賞状

入選
佳作

ニコンオリジナルカメラバッグ、賞状
ニコンオリジナルポーチ、賞状

次回フォトフォトサロンの応募締切は
2010年5月10日
(当日消印有効)

応募用紙&P11の注意事項をよく確認してね!

入賞作品はニコンイメージングのサイトで掲載中!チェックしてみよう!

www.nikon-image.com/jpn/activity/nikoncollege/contest/topeye

応募用紙はサイトからもダウンロードできるよ!

佳作



「仲良し」小坂 絵美

北海道旭川商業高等学校1年

●デジタル一眼レフカメラ ●70-200mm ●オート ●ISO200

なんとも微笑ましいひとときです。北海道の牧場のやさしいイメージが漂っています。モノクロでプリントしたことも良かったと思います。柔らかなトーンで美しい。また馬の頭が左を向いているいい瞬間だったと思います。ただちょっと画面内が詰まり過ぎています。できればもう少しだけまわりの情景も加えていただけるとなお良かったと思います。



「静寂」嘉瀬 大地

新潟県・中越高等学校1年

●D60 ●AF-S DX 55-200mm

●Aオート (f/4.8) ●ISO100

2004年の新潟県中越地震で大きな被害を受けた山古志村。その後長岡市に編入されましたが、地域は復興、再生へとがんばってきました。近隣にいる作者もそのことはよく理解されているでしょう。しかし、この深い雪は確かに重苦しいものがあります。静寂の中、自然と共生していかなければならない人間のありようを思わせる一枚です。

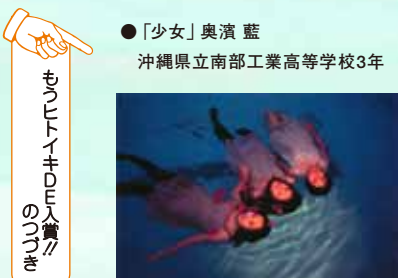


「一時の静寂」大村 華子

東京都・正則高等学校1年

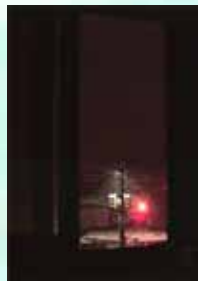
●D5000 ●AF-S DX18-55mm ●Pオート ●ISO400

こちらも「静寂」。ただし都会のオフィス街。時間帯がよくわかりませんが、景色を眺める男性はオフィスで働いているように見えません。しかし暇つぶしをしているようにも思えません。孤独感というよりも「個」のイメージがつかまっています。こちらも静寂の中に人間の存在というものを感じたのではないのでしょうか。都会ならではのクールなトーンが印象的です。



●「少女」奥濱 藍
沖縄県立南部工業高等学校3年

面白い設定ですし、色合いもきれいなのですが、こちらもノイズが出てしまっています。カメラ設定時に高感度時ノイズ低減をONにする、あるいは輪郭強調をしない、鮮やかな色合いを選択しないなどいくつか工夫しなければいけないところがあります。

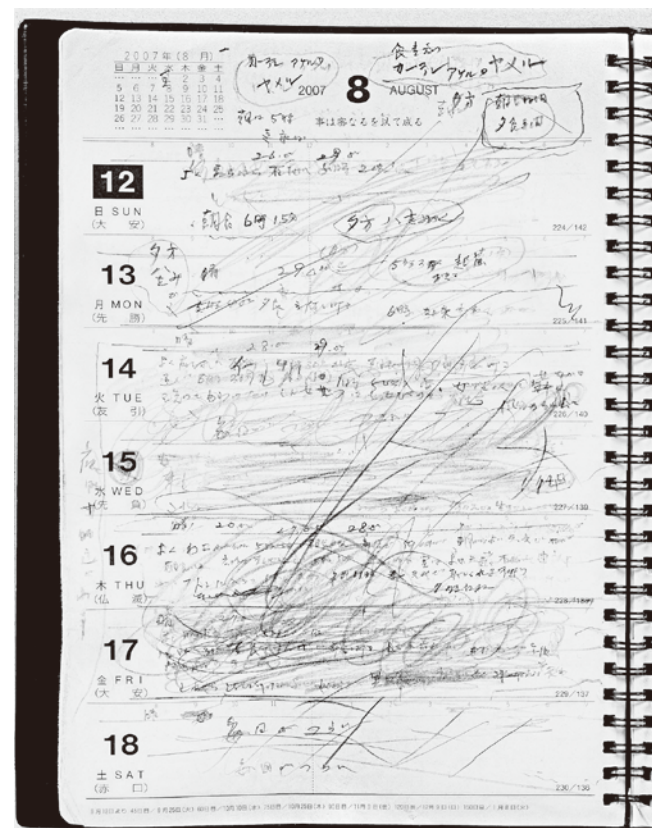


●「雪夜の中」佐藤 亮一
新潟県立六日町高等学校1年

やはりこれだけ周囲が暗く落ちていきますと、デジタル特有のノイズが目立ちます。孤独感ということで室内を暗くしたのですが、写真的には少し光りがまわっていた方が良かったように思えます。でも表でしんしんと雪が降る様子はよく感じられます。

視想講座

VOL.249 太田 順一
たくさんの出会いが自分を磨いてくれる



シリーズ「父の日記」より

若い頃、勤めた会社が肌に合わず、何か専門技術を身につけて転職しようと、たまたま見つけた写真学校に通い始めました。そこには僕と大して歳の違わない、でも熱く写真を語る講師たちがいて、写真への興味を深めてくれた。今思えば、この出会いが始まりですね。

現在に至る写真のテーマを決定づけたのも、ある出会いでした。僕の生活圏内には、在日コリアンや沖縄出身者など、普段は意識することの少ない生活文化を持った地区があります。ある時、その町の人とちょっとトラブルになって嫌な思いをしたんですが、それで逆に彼らを理解したいという強い動機が生まれたんです。

人を対象にしたドキュメンタリー写真の撮影は、人々とじっくり交流することが第一歩。当然ながら、相手はこちらの思った通りには動いてくれません。時には真っ向から自分が否定されたりもします

が、一方で素晴らしい人に知り合えるし、いい話もたくさん聞ける。

また、身近な対象も角度を変えると新たな発見があるものです。昨年伊奈信男賞をいただいた「父の日記」は、生前の日記を通して父の内面を見つめ、人の老いに改めて向き合った仕事でした。

今の社会では、異質な相手と出会う機会が減っている気がしますね。だからこそ若い人、特に写真を志す人には、「雑食性」の心で積極的に物事に関心を持ち、多くの人に会ってほしいと思います。自分の世界も大事だけど、様々な世界との交流が自分を強く、豊かにしてくれるはずですから。

人を撮った写真集をいくつか出した後、少し疲れを感じ、しばらくは花や街などにレンズを向けてきました。でもまた近いうちに人へ戻り、日常の小さな喜びを撮っていききたいと思っています。

太田 順一

Profile

(オオタ・ジュンイチ) 1950年、奈良県生まれ。早稲田大学政経学部中退、大阪写真専門学校(現・ビジュアルアーツ専門学校大阪)卒業。写真集「女たちの猪飼野」(1987)、「日記・藍」(1988)、「佐渡の鼓童」(1989)、「大阪ウチナンチュ」(1996)、「ハンセン病療養所隔離の90年」(1999)、「ハンセン病療養所百年の居場所」(2002)、「化外の花」(2003)、「群集のまち」(2007)など。著書に『ばくは写真家になる!』(2005)。2009年「父の日記」で第34回伊奈信男賞受賞。



【お知らせ】太田さんの写真集『父の日記』が2月末に発売されます! (予価:3,400円+税) 詳しくはお近くの書店か、出版元のブレーンセンター (06-6355-3300) まで。

ガンバレ写真部!!

今回訪れたのは、大阪市の中心部に程近い住宅地に建つ、創立100年余りの伝統校。「PhotoPhotoSalon」入賞者も出している写真部だけに、さぞや真面目に写真道を究める皆さんが…と思いきや、そこは顧問も部員も明るく楽しい、おちゃめな巣窟!編集部も思わずあきれ…じゃなかった、感心しきりの爆笑取材とあいなりました。

「ノリノリまじめ」に腕を磨こうぜ! 大阪市立都島工業高等学校



部員: 10名 (3年2名、2年5名、1年3名)
活動: 毎週水曜に部室に集合、フィルムの現像など。他の日はそれぞれ自由に撮影活動。
機材: 一眼レフカメラ (フィルム&デジタル) 数台、暗室。
収入: 生徒会予算が年10万円ほど。フィルム、印画紙、薬品代、大会参加費などに使用。たまに中古のカメラを購入。その他部費が1人あたり月300円。これは緊急用にプール。
部費節約のポイント: フィルムのプリントは基本的に自分たちの手で行う。カラーは自腹でプリントすることも多い。

(後列左から)
顧問の早川先生、寺前くん、伊藤くん、岩谷くん、前川さん、賀本くん、茅田先生。
(前列左から)
徳嶋さん、田辺くん、橋元くん。
(円内)
木村さん、石川くん。今回会えなくて残念!

歌う先生、ノル生徒。おい、どこまでいくの!?

6人(大勢!)の顧問中、最古参である早川先生のもう一つの顔はなんと「オペラ歌手」。地元のオペラ劇団で自慢のノドを振るい、ステージカメラマンも務める名物先生なのだ。カメラを向けると、高い所にあがって両手を広げ、「オーソーレーミーオー」始まっちゃいましたよカンツォーネが。もちろん、9年も顧問を務めているだけあって、写真の知識もスゴイ。早川先生に写真を教えてもらおうと、顧問になった先生もいらっしやとか。そんな好奇心とやる気あふれる先生のもとに集った写真部だから、ノリノリDNAもばっちり継承。表向きはクールに自分の道を追求しながらも、「ノセればその気になっちゃう」メンバーが多いと見た!



O sole mio!

準 TopEye 受賞者!



部長の田辺くん(右)と会計の徳嶋さん。

顧問の茅田先生(左)と手を取り合って歌う早川先生。あと4人の先生も加わったらどうなるやら?

華麗なる応募歴、受賞歴。そのヒケツって?

ノリだけでなく、活動も半端じゃないぞ。「フォトフォトサロン」常連の田辺部長をはじめ、ご覧の通り(←左表)の輝かしい実績。こんな成績、どうやったら残せるの?と、質問をぶつけてみました。まず、顧問も部員も、写真展や講習会、交流会にスゴく積極的に参加している。そして、事あるごとにその経験を後輩にしっかり伝える。「日韓高校生写真交流の集い」なんかの経験談は、スゴくいい刺激になるみたいです。写真って個人技みたいだけど、チームプレーでもあるんだね!



こんな感じでバンバン応募!そこから道は開ける!

<まぶしいぞ!都島写真部活動実績>

- TopEye フォトフォトサロン 準 TopEye 賞: 1回、佳作: 数回
- 大阪府文連 秋のフォトコンテスト 最優秀賞: 2回、優秀賞: 数回
- 全国高文連主催 「日韓高校生写真交流の集い」 過去3回、延べ5名参加
- 文化庁「高校生国際文化交流事業 写真部門 中華人民共和国」 過去1名参加
- 全国総合文化祭 写真部門 毎年出品
- その他コンテスト応募多数!

体力と心意気で、テーマ深掘り!

ベテランでノリノリで人望も厚い先生だから、写真術もみっちり教えてもらえるんだよね!と聞いてみたら、カメラの持ち方やピント、ズームなどの基本は、聞けば教えてくれるけど、テーマのアドバイスは特にしてくれないんだって。でもそれが却ってプラスに作用して、一人ひとりが自分の撮りたいものを考えるようになる、というのが都島流なのだ。ある1年生は、「まだ決まったテーマはないけど、人が目を向けないものを撮ることにこだわってます」なるほど、創造性ってこんな気構えから始まるのかもしれないね。男子が多いから、「体力勝負」のテーマ追求も多いみたいです。

そこに遊具があれば乗り込み…

そこにブランコがあれば漕ぎ、被写体となる!



もちろん顧問も

率先して…



みんなで被写体を追うも、よし。

一人でテーマを究めるも、よし。



徳嶋さん撮影



橋元くん撮影



<被写体選びに男気キラリ!>

- ・工事現場のクレーンを撮り続ける!
- ・空港へ行って着陸直前の飛行機を真下から狙い続ける!
- ・夜に工場から出てきた新型電車を自転車で追いかけて撮り続ける!

自前のカメラがなくても、賞とっちゃった!

悩みは、やはり機材不足。自前の一眼レフを持ってる部員もいるけど、部の備品は数台しかないで、足りなくなることもしょっちゅう。でも、そこにも早川先生の助け舟。新旧さまざま100台におよぶ(すごッ!)カメラコレクションを、惜しげもなく部員に使わせてくれるとか。それで一眼レフの機能を覚えて腕を磨き、自前のカメラで賞までとっちゃった子もいるんです。やる気があれば道は開ける!いやいやアツバレ。そんな感じでこれからも突き進んでほしい、都島工業高等学校の皆さんでした!



部室には、あの三木淳先生の熱いお言葉が!

フィルムの技術もきっちり覚えるぜ!



部室の壁には、先輩から代々受け継がれるナゾのカイロが…



取材中に突然の雨!すかさずカメラを上着の下へ。こんなキミたちに使ってもらって、カメラも幸せだ!

「四季折々の意欲的な活動」

大阪府高等学校芸術文化連盟写真部会 事務局長 岩谷 光雄

高文連から

毎年四季を冠にして行事を展開しています。昨年はインフルエンザ蔓延のため、「春」の街角撮影大会が中止になりましたが、「夏」の写真技術講習会、大伸ばし講習会は無事実施することができました。「秋」のモデル・ネイチャー撮影会は汗ばむほどの陽気のなか撮影を楽しみ、この日撮影の写真の後日顧問向けに公開で審査を行いました。「冬」の顧問技術講習会では、写真に対する顧問自身の審美眼を養う講義を午前を受けて、午後から

のモデル撮影に生かしていきました。

高文連自慢の日韓交流事業が昨年も夏に行われ、国際舞台での日本代表としての風格が大阪府の写真部会からみなぎってくるようになりました。



「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに登場したい!という写真部(または写真部に準ずる部)は、

- 部のPRポイント
- 学校・クラブ名
- 学校住所・電話番号
- 代表者氏名

を明記して、編集部(連絡先はP12記載)までご連絡ください。



みんなで作る! FRIEND'S EYE

読者の皆さんとトップアイ編集部、写真関係お役立ち情報でつくる
フレンズアイ。今号も楽しい情報、ディープな情報を集めました。皆さんの
投稿もドンドン掲載していきたいので、カメラや写真にまつわるいろんな
発見、主張、ギモンにお悩み、思いついたら投稿してね! 待ってまーす!

2010年度グランプリ スタート! フォトフォトサロン 作品大募集

部員みんなの次回締切は

5月10日(月)

2009年度グランプリも無事決定。でも写真部の挑戦に終わりは
ない。次なるグランプリが、6-9月号から始まるのだ。今度はあなた
の部がグランプリに輝く番かも。がんばって応募してね!

年度グランプリのしくみ

配点

- ・TopEye賞 100ポイント
- ・準TopEye賞 70ポイント
- ・入選 50ポイント
- ・佳作 30ポイント
- ・もうヒトイキDE入賞 10ポイント
- ・皆勤賞 20ポイント

賞

- ◎最優秀賞 (合計ポイント1位の学校)
 - ◎優秀賞 (合計ポイント2位の学校)
 - ◎敢闘賞 (合計ポイント3位の学校)
- 受賞校にはニコンデジタルカメラ、
賞状、楯を進呈。

グランプリ受賞校は、
来年春の授賞式(東京)に
ご招待!

グランプリへの秘策伝授!

秘策1 毎回出品

年度グランプリはポイント制。たとえ上
位を逃しても、たくさんの部員が「佳作」
「もうヒトイキ」そして「皆勤賞」をモノに
すれば、いつの間にかポイントが山と
なって積み上がるぞ!

秘策2 カメラ名や 撮影データもチェック

カメラ名(メーカー&製品名)や撮影モード、絞り
値、シャッタースピード、ISO感度などを、作品ご
とに確かめて応募用紙に記入しよう。応募のルー
ルなのはもちろん、これが習慣になると、「設定の
コツ」がつかめるようになり、上達への早道だ!

ここ重要!

TopEye PHOTO PHOTO SALON 応募用紙 / 2010	
学校名	学年
カメラ名	撮影モード
絞り値	シャッタースピード
ISO感度	白平衡モード
撮影日時	撮影場所
作品名	作品のコメント

応募上の注意!

- ✓ 応募用紙は最新号に同封のものを使ってね!
(ニコンイメージングのTopEye ページからもダウンロード
できるよ!)
- ✓ 各欄にもれなく記入しよう!
- ✓ 規定のプリントサイズを守ろう!
応募サイズはキャビネ、2L 判以上四ツ切、A4 判まで。組写
真の場合も各1枚は同じだから気をつけてね!
- ✓ 組写真は3点以内に。
- ✓ 画像の合成はオリジナル写真を使用すること。

応募先

〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1グランパークタワー34F
(株)ニコンイメージングジャパン ニコンカレッジ
TopEye フォトフォトサロン係

先生も、
お忘れなく!

次回4-5月号は、年に一度の
「先生だけのフォトフォトサロン」です。

締切は **3月10日(水)**

生徒さんに負けないバワフルな写真、お待ちしております!!

コンテスト情報・続報

第58回

ニッコールフォトコンテスト 『Under31部門』登場!

もうすぐ応募
始まります!

応募資格	30歳以下のすべての方 ※先号で「31歳以下限定」と掲載したのは誤りでした。 お詫びして訂正します。
大賞賞金	30万円 副賞としてD5000 Wズームレンズキット
さらに!	フォトフォトサロンTopEye賞受賞者は 当コンテストに自動ノミネート!

詳しい情報は次号で。楽しみに待っててね!

イベント情報

ニコンブースへ
集まれ!

CP+
CAMERA &
PHOTO IMAGING
SHOW

3月開催

今年から横浜で開催される
写真映像イベント「CP+ (シービープラス)」。
ニコンブースでは、若者に人気の写真家さんのトークショーや
ポートフォリオレビューなど、楽しいイベントが盛り沢山です。
詳しくはニコンイメージングのホームページを見てね!

日時: 3月11日(木) ~ 3月14日(日) 10:00~17:00
会場: パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい1丁目1-1)

みんなで誘い合ってヨコハマへ!

Nikon News

※COOLPIXの価格はすべてオープンブライズです。

COOLPIX S8000

夜景に強い広角10倍ズーム。2/19 発売予定



COOLPIX L21

撮る楽しさ実感の
薄型の高品位ボディ。2/19 発売予定



COOLPIX L22

簡単操作の
12メガピクセル。2/19 発売予定



COOLPIX L110

HD動画も撮れる
15倍ズーム。2/19 発売予定



Lenses

AF-S NIKKOR 16-35mm F4G ED VR

2/26 発売予定



付属品: フードHB-23、ソフトケースCL-1120
希望小売価格: ¥154,000 (税込¥161,700)

AF-S NIKKOR 24mm F1.4G ED

3/19 発売予定



付属品: フードHB-51、ソフトケースCL-1118
希望小売価格: ¥272,000 (税込¥285,600)

みんなの「今」を、もっともっと知りたい!
というわけで改めて

投稿 大募集!!!

写真
四コマ!



新入生
勧誘ポスター
自慢!



写真部
グッズ
自慢!



私の撮影旅行記! 必見おすすめ写真集! もちろん本誌のご感想、ご要望も!

投稿の際には、以下の項目を忘れずにね!

- ①学校名・クラブ名 ②あなたの住所 ③氏名
- ④電話番号 ⑤使用可能なメールアドレス

宛
先

〒104-0045
東京都中央区築地 1-5-11 築地 KB ビル 4F
(株)アドバタイズ TopEye 編集部宛
FAX (03) 5148-0566
mail address topeye@nikonoa.net

掲載者には、
素敵な記念品を
プレゼント!

恒例! 2009年 TopEyeフォトフォトサロン 入賞作品展



期 間 : 2010年3月30日(火)～4月5日(月)
時 間 : 10:00～19:00(最終日16:00まで)
場 所 : ニコンサロンbis
(東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー28階 ニコンプラザ新宿)
TEL : 03-3344-0565

期 間 : 2010年4月29日(木)～5月5日(水)
時 間 : 11:00～19:00(最終日15:00まで)
場 所 : ニコンサロンbis大阪
(大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザ
ウェストオフィスタワー13階 ニコンプラザ大阪)
TEL : 06-6348-9111

『全国高総文祭みやざき2010』
＜会場＞宮崎市民プラザ(宮崎市)
＜ニコンプース日程＞8/1～8/3
※日程は変更となる場合がございます。

高総文祭でも
展示します!

今年度も「フォトフォトサロン」の応援ありがとうございます!
1年間の総まとめ「フォトフォトサロン入賞写真展」が、東京と大阪で開かれます。
2009年4-5月号から2010年2-3月号までに掲載の
「フォトフォトサロン」「先生だけのフォトフォトサロン」入賞作品全44点を展示。
全国の強豪たちから寄せられた力とワザの結晶を、まとめて生鑑賞するチャンスです。
そして夏休み!南国宮崎で行われる『全国高総文祭みやざき2010』の
ニコンプースでも「アンコール開催」しちゃいます。
ぜひぜひ見に来て、感動して、パワーをもらってくださいね!



田代つかさ さん「プールとギターと少年」
2009年6-9月号 TopEye賞



岩本未来 さん「あと一歩」
2009年10-11月号 TopEye賞



柳澤悠人 さん「故郷」
2010年2-3月号 TopEye賞

渡辺真友 さん「出産」
2009年12-1月号 TopEye賞



キャンベル・アンドリュー先生「Little Dancer」
2009年4-5月号 TopTeacher賞

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/jpn/activity/salon/>

銀座ニコンサロン (03)5537-1469 10:00～19:00(最終日は16:00)

- 須田一政「常景」 2 / 3 ～ 2/16
- 森川 潔
「beyond the recollection : 記憶の向こうに」 2/17 ～ 3 / 2
- 染谷 暁「ニライ」 3 / 3 ～ 3/16
- 鈴木篤男「大河風貌(天竜川)」 3/17 ～ 3/30
- 山下忠志「鉄の人」 3/31 ～ 4/13
- 安島太佳由
「時代の誤り～太平洋戦争激戦の島々」 4/14 ～ 4/27

新宿ニコンサロン (03)3344-0565 10:00～19:00(最終日は16:00)

- 日本カメラ社「2009 日本カメラフォトコンテスト展」 2/16 ～ 2/22
- Juna21 金川晋吾「father」 2/23 ～ 3 / 1
- 諏訪 穂「場所」 3 / 2 ～ 3/15
- 柴田れいこ
「Sakura さくら 日本人と結婚した外国人女性たち」 3/16 ～ 3/29
- 島内英佑「セピア色の吉野川」 3/30 ～ 4 / 5
- Juna21 永富恵子「ニュースタートの若者たち」 4 / 6 ～ 4/12
- 井上尚久「バーチャリゼーション[仮想化]」 4/13 ～ 4/26

ニコンサロンbis新宿 (03)3344-0565 10:00～19:00(最終日は16:00)

- 日本カメラ社
「日本カメラ自然とカメラフォトコンテスト2009」 2/16 ～ 2/22
- Juna21 宮崎勇太「橋の向こうに」 2/23 ～ 3 / 1
- 京都造形大学通信教育部写真コース卒業制作選抜展 3 / 2 ～ 3 / 8
- 日本写真芸術専門学校写真科フォトアートコース
菊池東太ゼミ卒業作品展 3 / 9 ～ 3/15
- 武蔵野美術大学映像学科写真専攻卒業作品展 3/16 ～ 3/22
- ニッコール四支部合同写真展「それぞれの最寄駅」 3/23 ～ 3/29
- 2009 年度 TopEye フォトフォトサロン入賞作品展 3/30 ～ 4 / 5
- Juna21 米山洋平「3.141」 4 / 6 ～ 4/12
- デジスコ倶楽部「第7回デジスコ写真展」 4/13 ～ 4/19

大阪ニコンサロン (06)6348-9698 11:00～19:00(最終日は15:00)

- 第57回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第2部カラー 第3部ネイチャー 2/11 ～ 2/24
(会期中2/20・2/21 休館)
- 日本カメラ社「2009 日本カメラフォトコンテスト展」 2/25 ～ 3 / 3
- ビジュアルアーツ専門学校写真学科卒業制作選抜展 3 / 4 ～ 3/10

- Juna21 飯島望美「豚が囃う」 3/11 ～ 3/17
- 松本孝一「ポケットの中の月」
- Juna21 村越としや「uncertain」 3/18 ～ 3/24
- 小野淳也「また、あした。」 3/25 ～ 3/31
- 井上雅史「海沿いに」 4 / 1 ～ 4 / 7
- JOSEPH MAIDA「DREAM FACTORY」 4 / 8 ～ 4/14
- 森川 潔「beyond the recollection : 記憶の向こうに」 Juna21 10 周年記念展
「クロッシング・カオス1999-2009」 4/15 ～ 4/21

ニコンサロンbis大阪 (06)6348-9698 11:00～19:00(最終日は15:00)

- 第57回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第1部モノクローム 第4部デジタルイメージング
(会期中2/20・2/21 休館) 2/11 ～ 2/24
- 日本カメラ社
「日本カメラ自然とカメラフォトコンテスト2009」 2/25 ～ 3 / 3
- 神戸芸術工科大学
メディア表現学科写真専攻卒業制作展 3 / 4 ～ 3/10
- 大野純生「てくてく!日本列島内陸縦断ひとり旅」 3/11 ～ 3/17
- 鳴神英夫「光の宇宙へ～3秒の幻想～」 3/18 ～ 3/24
- 荒井保男「洛中地蔵現在事情」 3/25 ～ 3/31
- 生田利秋「ベトナム北部辺境に生きる人たち」 4 / 1 ～ 4 / 7
- ヨコハマ水中写真クラブ「我らの軌跡」 4 / 8 ～ 4/14
- 吉田淳「41枚の年賀状」 4/15 ～ 4/21

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

＼見てね!/
ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
URL: www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「ニコン カレッジ」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

『Top Eye』へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikonoea.net
TEL: 03-3769-7960

『TopEye』 2010年2-3月号 訂正について

今号『TopEye』において、2カ所誤りがございました。

深くおわびいたしますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

『TopEye』編集部

P.4 フォトフォトサロン

大快優子さん 撮影データ

(正) 一眼レフカメラ

(誤) デジタル一眼レフカメラ

P.12 コンテスト情報・続報

第58回ニッコールフォトコンテスト『Under31部門登場』

(正)

大賞賞金・賞品	30万円 ニコンD90レンズキット
---------	----------------------

(誤)

大賞賞金	30万円 副賞としてD5000 Wズームレンズキット
------	-------------------------------